

## 定禅寺通エリアを、アップグレードしよう

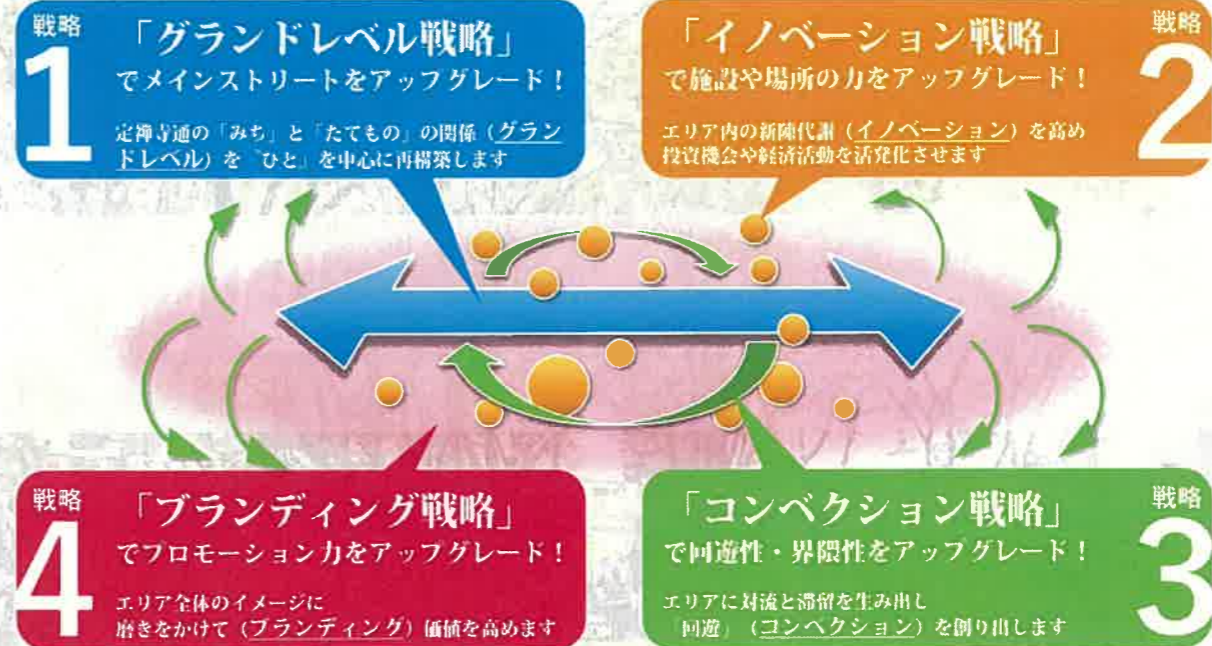


定禅寺通エリアはこれまで積み重ねてきたまちづくりの「歴史」により市民にひらかれた文化交流・市民活動の拠点として成長してきました。



これからも、杜の都のシンボルとして人々を惹きつける街であり続けるために先人たちの「想い」を受け継ぎ未来に向けてアップグレードします。

## 4つのアップグレード戦略



**戦略1 「グランドレベル戦略」**  
でメインストリートをアップグレード！  
定禅寺通の「みち」と「たてもの」の関係（グランドレベル）を「ひと」を中心に再構築します

**戦略2 「イノベーション戦略」**  
で施設や場所の力をアップグレード！  
エリア内の新陳代謝（イノベーション）を高め投資機会や経済活動を活性化させます

**戦略4 「ブランディング戦略」**  
でプロモーション力をアップグレード！  
エリア全体のイメージに磨きをかけて（ブランディング）価値を高めます

**戦略3 「コンベクション戦略」**  
で回遊性・界隈性をアップグレード！  
エリアに対流と滞留を生み出し回遊（コンベクション）を創り出します

戦略やプロジェクトメニューの内容等については、ターゲットや戦略的な展開等を意識しながら、大規模社会実験の検証結果等も踏まえ最終案に向けて引き続き検討していきます。（P9～P12含）

## イノベーション戦略に基づくプロジェクト

アップグレード戦略

# 2

イノベーション戦略

施設や場所の力をアップグレード！

エリア内の新陳代謝を高め投資機会や経済活動を活性化させます

- PJ.1 民有不動産の徹底活用**
- 老朽化した民有建物や低未利用地については、リノベーション・暫定利用・建替え・共同利用など様々な手法を駆使して不動産の徹底活用を推進する
- PJ.2 公共施設再編との連携**
- 老朽化した公共施設の更新・再編における空間活用事業を推進する
  - 市役所本庁舎の建替えについて、庁舎低層部と市民広場の一体的利活用への関与を目指す
  - 市民会館移転後の跡地については、定禅寺通の「ま」を位置づけ、周辺地権者等と一緒に勉強会を重ね、定禅寺通にふさわしい土地利用・機能導入につながるよう検討を推進し、提言等につなげる
- PJ.3 事業者間のコラボレーションで事業創発**
- エリアの事業者をマッチングし、定禅寺通ならではの新しい商品やサービスを創発する
- PJ.4 クリエイティブ人材が集う場づくり**
- 若者・起業家のスタートアップやチャレンジを後押しする取組をエリア全体で推進する。例えば、ポップアップショップやチャレンジショップ、低単価価格での場の提供、コワーキング・シェアスペース等、クリエイティブ人材同士をつなぐ機会を創出する。
- PJ.5 世界に冠たる「環境都市」への取組**
- SDGsや脱炭素等の社会動向を先取りして、建物や工作物等の「木質化」や「緑化」、「環境性能向上（LEED、WELLの認証取得推奨）」を推進する
  - 民地も含め緑化やグリーンインフラを推進し、緑あふれる街並み「GREENEST CITY」のモデルエリアとなる
  - 環境保全や地域資源の循環等を学び・実践するフィールドとして活用する

「出逢」が広がる街

「文化」を創造し続ける街

「価値」を高め合う街

## コンベクション戦略に基づくプロジェクト

アップグレード戦略

# 3

コンベクション戦略

回遊性・界隈性をアップグレード！

エリアに対流と滞留を生み出し回遊を創り出します

- PJ.1 多様な人々、多様な主体の居場所となること**
- 子どもから高齢者まで、個人から家族、友達同士、企業やNPO、市民団体まで、幅広く多様な市民・人々が訪れ、活動し、楽しめる環境をつくる
- PJ.2 定禅寺通へのアクセシビリティ向上**
- 地域内外をつなぐ交通結節機能を強化する
  - MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）を推進する
  - 定禅寺通に至る公共交通の分かりやすさを向上する（仙台駅前バス停のPRやネーミング、仙台市営地下鉄の案内表示の充実等）
  - 定禅寺通エリアの事業者サービス等と連携した事業を展開する
- PJ.3 勾当台公園・西公園の利活用**
- 勾当台公園や西公園など、定禅寺通の東西に位置する大規模な都市公園の魅力を向上させ、定禅寺通エリアへの波及効果を高めるため、民間活力の導入等による日常的な管理運営に積極的に係わる
- PJ.4 小さなアクションをいたるところで展開**
- 定禅寺通につながる通りや周辺の街区毎に、コンセプトや愛称などを設定し、コインパーキング等の低未利用地を活用したイベント・滞在空間化などを同時多発的に進め、訪れるたびにいろいろな楽しみを体験できるまちづくりを推進する
- PJ.5 身近な緑を増やし、季節を楽しめる街へ**
- 裏通りや建物の軒先などでも「小さな緑化」「花飾り」を進め、ケヤキ並木を中心に街のあちこちで四季を楽しめる環境づくりを促進する
- PJ.6 先導的かつ環境にやさしい移動手段の導入**
- グリーンスローモビリティなど、人と環境にやさしい公共交通を導入する
  - AIや自動運転を活用したオンデマンド交通、キックボードやパーソナルモビリティなど、多様な人々に「快適な近距離移動」を可能にする

「出逢」が広がる街

「文化」を創造し続ける街

「価値」を高め合う街